

第3 県債及び一時借入金の状況（普通会計）

県債は、県が建設事業や災害復旧事業を行うなど、一時に多額の資金を必要とする場合、この財源として総務大臣の許可を受けて国等から長期に借り入れる資金であり、後年度に一定の償還計画に基づき返還していくものです。

1 県債年度末現在高

県債の平成13年度末現在高は、普通会計では、表26（ア）及び巻末資料32のとおり、約8,820億円で、これは前年度に比べ163億円、1.9%の増額となっています。

これらを事業別にみると、表26（ア）、図38のとおり、その主なものとして、一般公共事業債が38.9%を占めていることがわかります。

これら県債の借入先及び利率をみてみると、表26（イ）と図39のとおり、借入先は、その主なものとして政府資金が54.5%、市中銀行が31.6%となっており、利率別では、利率3%以下のものが71.7%、利率4%以下のものが82.5%、利率5%以下のものが93.8%を占めています。

次に、これら県債年度末現在高と県債依存度（歳入総額に占める県債発行額の割合）における平成4年度からの推移をみてみると、県債年度末現在高（NTT債除く）は、図40及び巻末資料30のとおり、平成4年度末に約3,395億円であったのが、平成10年度末に約8,000億円を超え、平成13年度末には約8,811億円となり、平成4年度末現在高の約2.5倍以上になっています。これは、歳出総額が平成4年度の約6,688億円から平成13年度の約7,729億円へ約1.2倍増加したのと比べると、その増加率で対比してみると2倍となっています。

また、平成4年度の県債年度末現在高は、歳出総額の半分程度であったものが、平成11年度以降は、県債年度末現在高が歳出総額を上回る結果となっています。

一方、県債依存度は、図40及び巻末資料31のとおり、平成4年度以降は10%台で変動推移しており、特に平成5年度には15.5%、平成8年度には14.3%、平成10年度には14.7%と高い値となっています。これらは近年の数次にわたる経済対策に伴い発行した県債の増加が要因に挙げられ、近年の歳出に占める元利償還金の割合を急上昇させる原因となっています。

表26 平成13年度における県債の年度末現在高（普通会計）

（ア）事業別

（単位：千円）

（イ）借入先別及び利率別

（単位：千円）

区 分	現在高
一般公共事業債	343,187,098
一般単独事業債	330,722,270
公営住宅建設事業債	6,136,097
災害復旧事業債	10,008,249
首都圏等建設事業債	12,165,498
厚生福祉施設事業債	4,771,216
転 貸	56,303
国の予算貸付・政府関係機関貸付債	18,475,092
そ の 他	156,477,108
合 計	881,998,931

借入先	現在高	左の利率別内訳					
		3.0%以下	4.0%以下	5.0%以下	6.0%以下	7.0%以下	7.0%超
政府資金	480,549,631	338,466,283	33,929,670	59,781,823	12,220,938	28,587,460	7,563,457
財政融資資金	448,025,267	315,513,558	31,541,572	56,996,666	10,751,683	25,803,107	7,418,681
簡易保険局等	32,524,364	22,952,725	2,388,098	2,785,157	1,469,255	2,784,353	144,776
国の予算貸付・政府関係機関貸付	18,475,092	14,233,500	2,501,556	1,740,036			
市中銀行	279,150,490	211,543,510	41,742,540	25,864,440			
公営企業 金融公庫	48,726,863	25,580,000	8,793,362	8,974,968	1,361,333	3,297,067	720,133
共済組合	2,637,170	1,948,590			149,750	404,100	134,730
その他の 金融機関	51,585,914	39,933,794	7,912,220	3,739,900			
その他	873,771	853,997		19,774			
合計	881,998,931	632,559,674	94,879,348	100,120,941	13,732,021	32,288,627	8,418,320

（四捨五入のため、合計に合わない場合があります。）

2 一時借入金

一時借入金は、予算執行にあたって歳計現金（一会計年度における一切の収入または支出に係る現金のこと）の資金繰りに不足を生じた場合、一時的に予算に定められた範囲内で市中銀行から借り入れるものです。

なお、資金繰りの必要から、平成13年度において、最大時には約62億円の借入を行いました、全額年度内に償還しています。

図38 県債事業別現在高構成図（普通会計）
（単位：％）

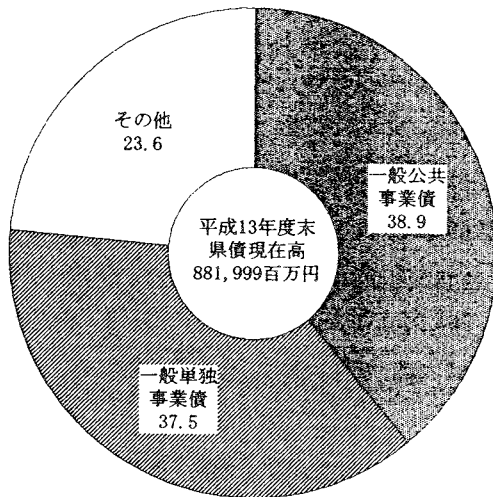
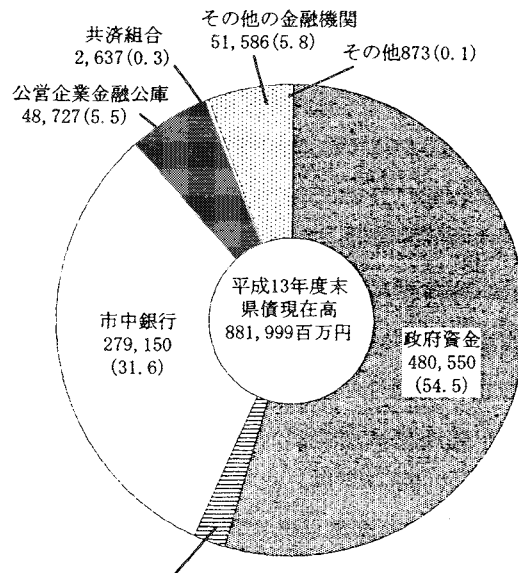


図39 県債借入先別構成図（普通会計）
（単位：百万円）
*下段()は構成割合%



国の予算貸付・政府関係機関貸付 18,475 (2.1)

（四捨五入のため合計に合わない場合があります。）

図40 県債依存度と県債年度末現在高の推移（普通会計）

